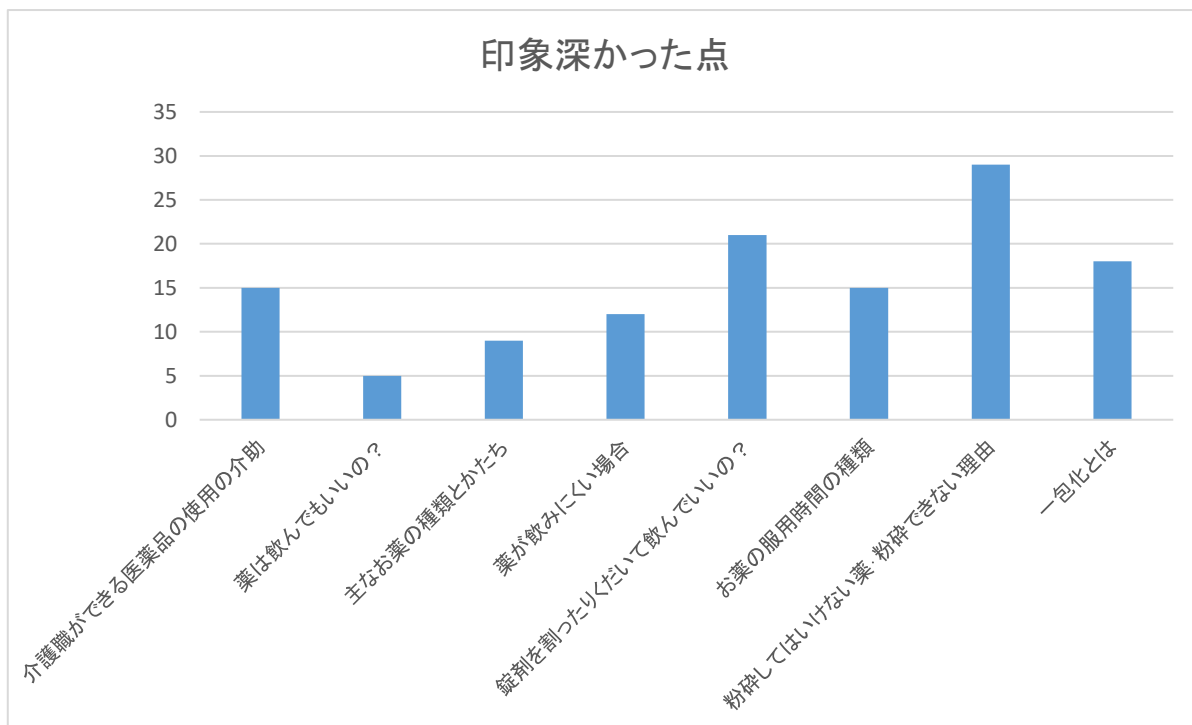
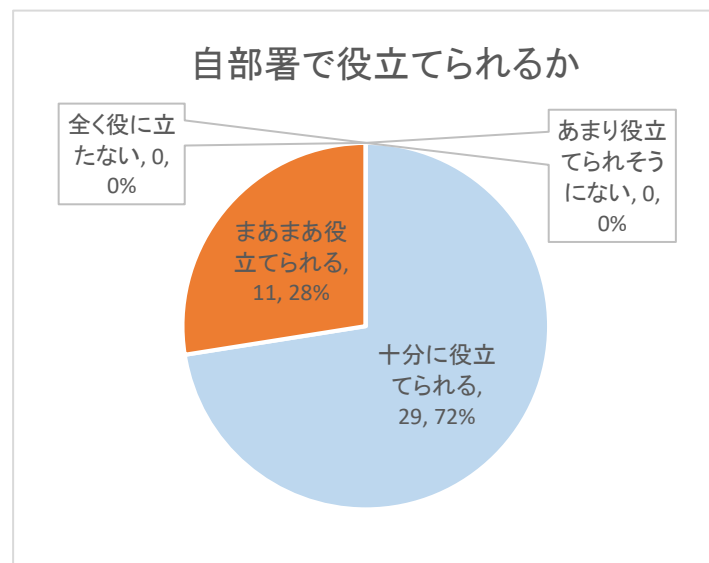
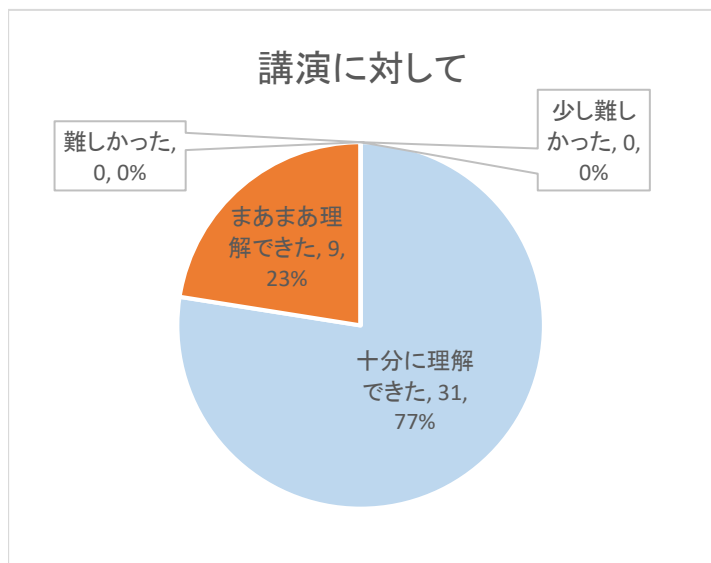
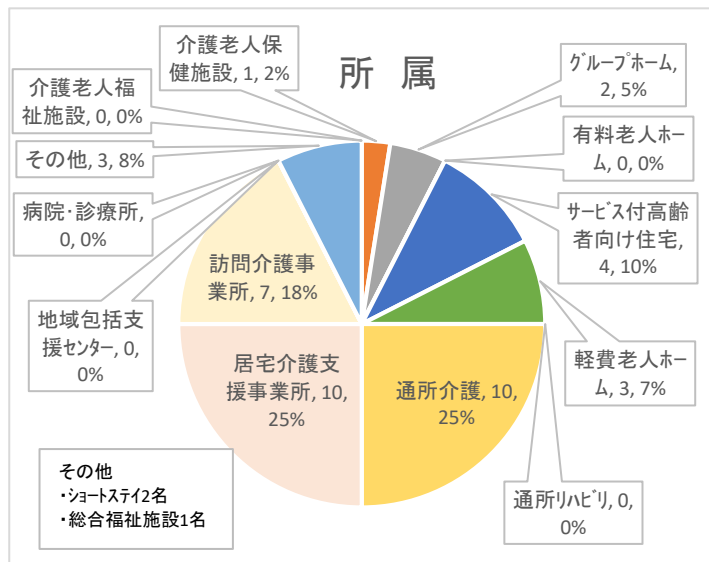
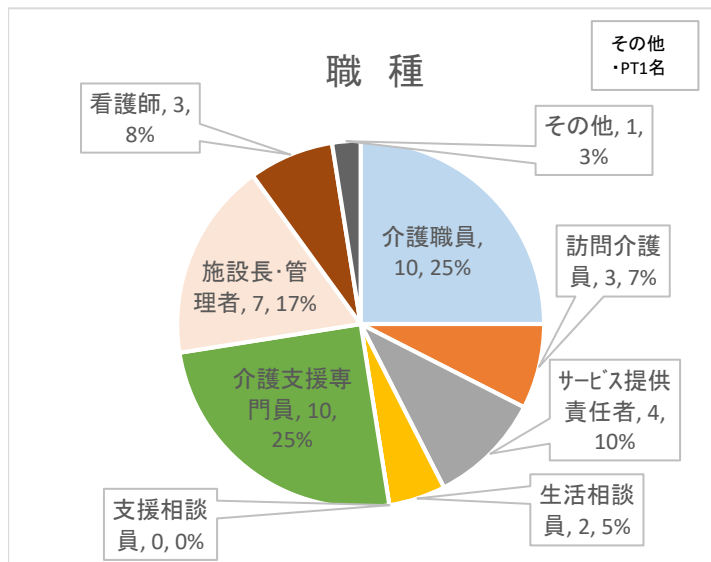


現場で役立つ介護職のための医学的知識講座「薬剤に関する豆知識」 アンケート集計

遠賀中間医師会在宅総合支援センター H29.10.4
参加人数40名 アンケート40名



「研修内容について」どの様なことが今後役立てられそうですか？

- ・粉碎を甘く考えていた。
- ・誤嚥の防止。
- ・職員会議でヘルパーに研修を行うことで知識の再確認ができる。わからない時は薬剤師さんに電話して聞くこと。
- ・服薬の重要性、薬剤師の方との連携。
- ・開けたインスリン(ペンタイプ)は冷蔵庫保存はダメ。目薬はよくふるのは最後。
- ・点眼薬のことがいろいろわかりました。
- ・点眼の時間。種類→最後にすべき物等。
- ・混合軟膏、点眼薬、インスリン注射等の冷蔵庫保存や使用期間に関してみんなで確認しようと思う。
- ・残薬の保管、管理について。
- ・意識をして確認する様になる。
- ・デイでの点眼など。
- ・薬を飲み込めない利用者が多くなってきたので、どのようにしたら飲めるかということで役に立ちました。
- ・軟膏→冷所3ヶ月(混ぜたもの)、開封したものは少し捨てるで使用可能、薬剤粉碎による効き方の違い。
- ・薬の保存について。
- ・薬の期限や保存について参考になった。わからない時は薬剤師さんに相談したい。
- ・服薬援助や薬の管理方法を詳しく説明していただけたので役立てられます。
- ・薬剤師さんとの相談がしやすくなりそうです。
- ・気軽に薬剤師の方に相談しても大丈夫と言って頂き、良かったです。
- ・わからないことがあれば薬剤師へ相談すること。
- ・薬の保存の仕方や残薬の対処法など。
- ・薬の形態による飲み方。
- ・小さなことでも薬局に相談したいと思いました。職員への伝達講習。
- ・誤嚥の注意、防止。
- ・服薬困難時の相談。
- ・全体。
- ・お薬の説明を利用者さんにこの書類でもって説明できる。
- ・薬に関してわからない時は、薬剤師の方に聞いていきたいと思います。
- ・薬剤の変更などについて。残薬について。

「日頃、医薬品の介助を行う上での悩み」はどんなことがありますか？

- ・薬をそのまま飲み込んだり(水を飲まない)、薬を嚙んで飲む方など。
- ・お薬を飲んだ時、皆さんあまり水を飲まれません。薬の数等どの位の水分をとったらいいでしょうか？
- ・残薬が多くてびっくりしている。先生に余っている事を相談して下さいと声かけしても'いい'と言われる。医療費の無駄遣いが気になっている。
- ・睡眠剤はどうして頓服ではないのでしょうか？特に高齢者の方にどっさり処方されると不安です。
- ・残薬をDr.や薬剤師の先生に話すように説明、持参もすすめているが「怒られる」という理由で相談持参することを拒否する人が多い。
- ・薬を嚙んで食べる(認知の為言っても理解できない)。
- ・服用が自己管理で行っているが、実際は出来ていない時の対応。
- ・日頃医薬品の介助を行って思うことは、どんなに現場慣れをしても誤薬をしまう時があります。二重三重の確認をしておりますが、他に対策があれば知りたいです。
- ・認知症の方が飲み忘れたり「飲まない方が良いと言われた」と言い張り飲まない等。

「その他ご意見・研修内容の希望など」

- ・今度もっと口腔ケア等の研修に参加したいと思います。
- ・薬剤師へ気軽に相談出来る様にするためには、どうすれば良いでしょうか？敷居が高く感じられます。
- ・立位、歩行を安定させる為のリハビリ支援。
- ・いつもありがとうございます。次回も参加したいと思います。
- ・入院時のMSWやNsとの連携について。田中先生のお話はいつも分かりやすく聞きやすいです。またお願いしたいです。